

第四十三回句会 俳句

【高点句】

- ☆ほろ苦き菜の花明日はクラス替え 〈撫子〉  
☆海沿ひの線路へ花菜黄を零し 〈明美〉  
☆ぶかぶかの制服の列草若葉 〈安津子〉  
☆落花浴ぶ車椅子より立ち上がり 〈明美〉  
☆菜の花や汽車の車輪を隠すほど 〈莫院〉  
☆菜の花のほつほつと咲く地震跡地 〈一馬〉  
☆その先はぼかし模様に花菜風 〈眞澄〉  
☆付度の文書改ざん桜散る 〈莫院〉  
☆菜の花のさかり単線行き違ひ 〈明美〉

【各自一句】

- ・人待たず刻刻散ってゆく桜 〈一馬〉  
・菜の花やデニムのシャツの前を開け 〈莫院〉  
・花散りて道後城址の静けさよ 〈茂〉  
・咲いて散るけじめに乾杯花見酒 〈童心〉  
・ポケットに花びら一つ花吹雪 〈青蛙〉  
・沈黙す千鳥ヶ淵の花筏 〈千恵〉  
・菜の花やテニスボールは柵を越え 〈安津子〉  
・花吹雪どよめく上野コップ酒 〈撫子〉  
・真ん中に莖咲かせて花時計 〈眞澄〉

\*以上、30句(3句ずつ10名)より、選句は12名により4句ずつ

\*高点句は、高得点の句より3句(今回は第1位が同点で2句、第3位が同点で7句)

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による(得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載)